

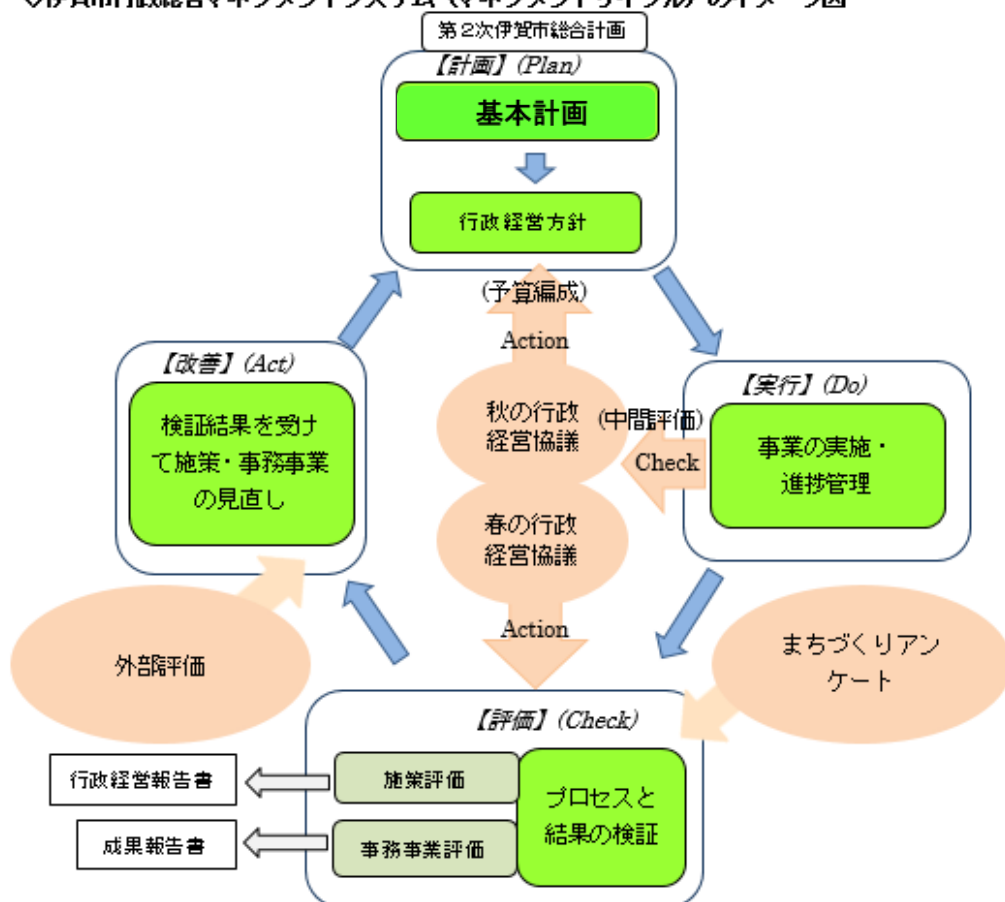
行政経営報告書

2024（令和6）年8月

伊 賀 市

行政経営報告書は、第2次伊賀市総合計画第3次基本計画（2021（令和3）年度から2024（令和6）年度）の進捗状況や、2023（令和5）年度の市政運営の評価をもとに、成果や課題を捉え、2024（令和6）年度の施策へつなげることを目的に作成しています。

◇伊賀市行政総合マネジメントシステム（マネジメントサイクル）のイメージ図



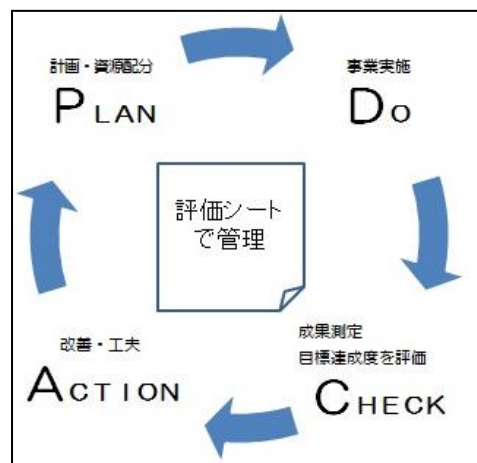
目 次

	頁
1. 行政評価とは	1
2. まちづくりアンケート結果概要	2
(1)まちづくりアンケートとは	2
(2)調査の仕様	2
(3)各施策の満足度、参画度の一覧	3
3. 2023（R5）年度 成果指標進展度一覧	5
4. 重点施策と横断的な取り組みの状況について	11
5. 施策一覧	14
(1) 施策評価シートの見方	15
(2) 施策評価シート（38施策）	17

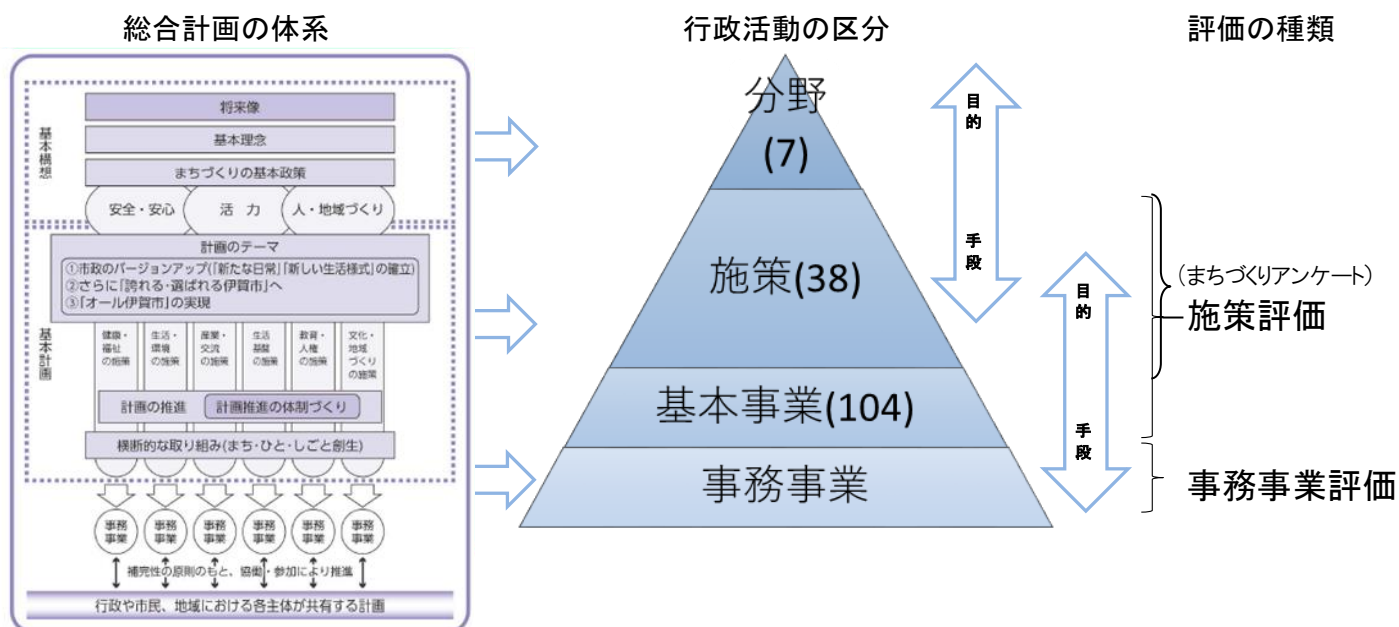
1. 行政評価とは

行政の様々な活動を、「市民にとっての効果は何か」「当初期待した目的どおりに成果が上がっているか」といった視点で評価・検証することで、より効率的で効果的な行政運営を追及する手法です。また、民間企業で培われた管理手法であるマネジメント（PDCA）サイクルを行政運営に取り入れようとするものです。PDCAとは、Plan（計画を立てる）、Do（実行する）、Check（実行した結果、目標に到達したか検証する）、Action（検証の結果を次の計画の改善につなげる）のことです。

【図1 PDCAサイクル】



【図2 行政評価の分類】



「施策評価」については、部長などが施策評価シートを用いて、2022（令和4）年度の事業及び2023（令和5）年度の上半期の成果や、時代の潮流や課題などから、昨秋に中間評価を実施し、その評価結果をもとに、翌年度（2024（令和6）年度）の当初予算へ反映するとともに、市政運営の方向性について政策協議（春の行政経営協議）を行いました。昨年度末には、翌年度事業実施に際しての2023（令和5）年度の課題及び2024（令和6）年度における改善内容などについて再度、施策評価シートに追記しています。

伊賀市では、2006（平成18）年度より行政評価を実施していますが、内部評価をするにとどまっていたので、さらに評価の信頼性・客観性を高め、『市民目線、市民感覚で、分かりやすく公平で透明性のある、地域に偏りのない市政の確保』を達成していくため、2016（平成28）年度より外部評価を導入しています。

2. まちづくりアンケート結果概要

(1) まちづくりアンケートとは

「ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市」を実現するために、市民の皆さんが普段の生活で感じられていること、お気づきになられていることをお聞かせいただき、今後の伊賀市のまちづくりの参考とするものです。

また、第2次伊賀市総合計画 第3次基本計画の各施策にかかる、市民の皆さんの「満足度」、「参画度」を把握することで、客観性が確保された現状分析や方向性の検討を可能とするものです。

そのため、第3次基本計画に掲げる38項目の施策について、「満足度」では、市民のみなさんの実感に基づき、「満足」から「不満」までの4段階で質問を行っています。

なお、「参画度」については、各施策を伊賀流自治（ガバナンス）の視点でみたときに求められる「市民の役割」に対する参画度を表しています。

(2) 調査の仕様

- ① 調査地域 伊賀市全域
- ② 調査対象 市内在住、在勤、在学、または市外に在住で伊賀市に関わりがある満18歳以上の方
- ③ 周知方法 伊賀市eモニター及び住民基本台帳に登録されている方から無作為に5,000人抽出しダイレクトメールの送付等
- ④ 調査方法 Web方式（希望者へは質問用紙を配布）
- ⑤ 調査期間 2024(令和6)年2月10日～3月3日
- ⑥ 回収数 990件

(3)各施策の満足度、参画度の一覧

分野	施策 No.	施策キーワード	協働によるめざす姿	満足度		参画度	
				割合※	順位	割合※	順位
1 健康・福祉	1-1	地域共生社会づくり	助け合いや支え合いにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らす	62.8%	9	39.8%	20
	1-2	医療	身近なところで安心して医療を受けることができる	57.6%	13	47.2%	11
	1-3	健康づくり	生涯を通じ、健康に暮らすことができる	64.7%	5	58.7%	5
	1-4	高齢者支援	高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らすことができる	45.1%	25	30.5%	32
	1-5	障がい者支援	障がい者が、自分らしく安心して暮らすことができる	41.6%	28	42.1%	15
	1-6	子育て・少子化対策	子どもを安心して産み、育てることができる	44.7%	26	28.1%	34
2 生活・環境	2-1	危機管理	災害などの危機に強くなる	47.5%	20	46.6%	13
	2-2	消防・救急	火災や急病などで人命が失われないようにする	63.1%	8	48.1%	9
	2-3	安心な暮らし	市民が安全で、穏やかに暮らすことができる	75.6%	3	79.1%	2
	2-4	環境保全	豊かな自然環境を守り次代へ引き継ぐ	61.1%	10	55.8%	7
	2-5	一般廃棄物	廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	79.5%	2	77.9%	3
	2-6	上下水道	安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る	80.9%	1	80.4%	1
3 産業・交流	3-1	観光	観光客を呼び込み、もてなす	45.5%	24	41.1%	16
	3-2	農業	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	58.6%	12	65.0%	4
	3-3	森林保全・林業	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	44.1%	27	31.7%	30
	3-4	中心市街地活性化	中心市街地の賑わいをつくる	27.8%	37	36.5%	26
	3-5	商工業・産業立地	地域の特性を活かし、商工業活動を盛んにする	39.8%	30	47.0%	12
	3-6	就業・起業	だれもが働きやすく、働く意欲が持てる	39.2%	31	25.9%	35
4 生活基盤	4-1	都市政策	適正な土地利用により、まちの魅力を高める	31.0%	35	37.8%	21
	4-2	住環境整備	だれもが安心な住環境で暮らせる	66.2%	4	54.2%	8
	4-3	道路	道路ネットワークによって移動がしやすい	56.9%	15	58.0%	6
	4-4	公共交通	身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える	24.3%	38	21.1%	37

分野	施策 No.	施策キーワード	協働によるめざす姿	満足度		参画度	
				割合※	順位	割合※	順位
5 教育・人権	5-1	人権尊重・非核平和	人権に対する正しい知識を習得する	54.1%	17	42.8%	14
	5-2	同和問題	部落差別をなくす	57.4%	14	37.4%	22
	5-3	学校教育	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	49.1%	19	40.0%	19
	5-4	教育環境	子どもたちが、安心して学べる	59.9%	11	25.7%	36
	5-5	生涯学習	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	45.8%	22	32.3%	29
6 文化・地域づくり	6-1	住民自治・市民活動	住民自治活動、市民活動やボランティア活動が活発に行われる	55.1%	16	40.9%	17
	6-2	多文化共生	国籍や文化の違いを認め、共生する	63.9%	6	40.4%	18
	6-3	文化・芸術	豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	46.6%	21	37.3%	24
	6-4	歴史・文化遺産	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	63.4%	7	36.6%	25
	6-5	スポーツ	気軽にスポーツを楽しむことができる	45.6%	23	32.9%	27
	6-6	定住・関係人口	ファン獲得・拡大と地域への人口定着の推進	30.9%	36	20.9%	38
7 計画の推進	7-1	広聴広報	理解と共感につながる市政情報の共有化	49.4%	18	30.9%	31
	7-2	財政運営	健全な財政運営	36.5%	33	48.1%	9
	7-3	組織・人事	市民の期待に応えられる組織・人づくり	34.1%	34	30.5%	32
	7-4	広域連携	圏域全体の活性化につながる広域的な連携	41.2%	29	37.4%	22
	7-5	デジタル自治	デジタル技術の活用による市民サービスの向上と効率的な行政運営の実現	38.1%	32	32.5%	28
平均値				50.8%		42.6%	

※ 伊賀市まちづくりアンケートにおいて、

{	・満足度「満足」、「やや満足」	}	と回答した市民の割合
	・参画度「あてはまる」、「少しあてはまる」		

※ 19 は中間位（19位）

3. 2023 (R5) 年度 成果指標進展度一覽

第3次基本計画では、各施策における取り組みの成果を定量的に示す目標値（KPI）を設定することで、計画に沿った実行が出来ていたのかを検証しています。

目標達成状況は、

- ①増加を目指す指標の場合・・・ $\frac{\text{令和5年度実績値}}{\text{令和5年度目標値}}$
 ②減少を目指す指標の場合・・・ $\frac{\text{令和5年度目標値}}{\text{令和5年度実績値}}$
 ③累計値を目標値に設定する場合・・・ $\frac{(\text{令和5年度実績値} - \text{計画策定時の値})}{(\text{令和5年度目標値} - \text{計画策定時の値})}$

進展度		目標達成状況により算出
◎	進んだ	100%以上
○	ある程度進んだ	85%以上100%未満
△	あまり進まなかった	70%以上85%未満
×	進まなかった	70%未満
—	不明	(令和5年度目標値または実績値なし)

※左の基準による区分がふさわしくない項目については、総合的に判断しています。

施策 No.	施策キーワード	成果を示す指標（K P I）	単位	方向	計画策定 時の値	R5年度 実績値	R6年度 目標値	進展度
1-1	地域共生社会づくり	地域福祉ネットワーク会議開催数	回	①	52	60	60	◎
		開催機関や地域等との連携回数	回	①	4,726	3,662	増加	△
		複雑なケースの解決割合	%	①	79.7	73.9	80%以上	○
		就労・増収率	%	①	68.7	34.6	70%以上	×
1-2	医療	救急患者受入率	%	①	96.6	96.6	98.0	○
		多職種間連携の意識	%	①	33	33	50	×
		取り組んでいるプロジェクト数	回	①	4	4	5	△
		在宅復帰率	%	①	94	91	90%以上	◎
1-3	健康づくり	健康寿命 男性	歳	①	82.60	82.94	延伸	△
		健康寿命 女性	歳	①	85.88	85.98	延伸	△
		特定保健指導率	%	①	7.2	13.0	15.0	○
		健康づくり事業協力機関数	機関	③	182	261	220	◎

施策 No.	施策キーワード	成果を示す指標（K P I）	単位	方向	計画策定 時の値	R5 年度 実績値	R6年度 目標値	進展度
1-4	高齢者支援	要介護認定を受けていない人の割合	%	①	79.43	79.16	上昇	◎
		認知症サポーター数	人	③	7,170	8,746	8,700	◎
		緊急通報システム貸出数	人	③	163	198	200	◎
		地域密着型サービス事業所数	か所	③	32	32	37	×
1-5	障がい者支援	関係機関や地域等との連携回数	回	①	4,118	4,567	増加	◎
		地域生活支援拠点事業 登録事業所数	か所	③	13	20	20	◎
		研修会により理解が深まった人の割合	%	①	71.0	92.7	75.0	◎
1-6	子育て・少子化 対策	何らかの解決方法を知っている親の割合	%	①	80.3	78.4	85.0	○
		伊賀市で子育てをしたい親の割合	%	①	92.0	91.2	95.0	○
		特定不妊治療費助成申請件数	件	①	146	215	165	◎
2-1	危機管理	地域の避難所運営マニュアル 策定率	%	①	15.4	28.2	100	×
		危機管理関係計画等 策定率	%	①	22.0	50.8	100	×
		河川浚渫（しゅんせつ）事業 対応率	%	①	14.3	78.6	80.0	◎
		廃池実施数	実施数	③	1	2	20	×
2-2	消防・救急	消防水利 充足率	%	①	63.19	64.30	64.00	◎
		現場に居合わせた人の救命処置率	%	①	50	72	60	◎
		住宅用火災警報器 設置率	%	①	70	79	80	○
2-3	安心な暮らし	人身事故件数	件	②	122	151	前年度比 ▲7%を 継続	×
		刑法犯認知件数	件	②	334	380	前年度比 ▲5%を 継続	×
		消費生活相談件数	件	①	207	166	200	△

施策 No.	施策キーワード	成果を示す指標（K P I）	単位	方向	計画策定 時の値	R5年度 実績値	R6年度 目標値	進展度
2-4	環境保全	参加者の意識向上度	%	①	—	89	70	◎
		河川水質環境基準 達成度	%	①	100	100	100	◎
		不法投棄量（減少を目指す指標）	kg	②	10,401	6,931	10,000	×
2-5	一般廃棄物	年間ごみ処理経費（減少を目指す指標）	円	②	13,949	11,919	13,400	○
		ごみ分別アプリ登録数	件	③	7,333	18,880	10,000	◎
		排水基準達成率	%	①	100	100	100	◎
2-6	上下水道	地震に強い水道管路延長の割合	%	③	8.6	9.7	9.5	◎
		汚水処理人口普及率	%	③	80.3	84.4	84.6	◎
3-1	観光	旅行消費額	円	①	11,953	13,892	15,257	○
		リピーター率	%	①	48	52.69	53	○
3-2	農業	伊賀米の1等米比率	%	①	53.2	63.5	70.0	○
		認定農用地面積	ha	①	4,057	3,963	4,250	○
		認定農業者数	人	①	230	218	240	○
		伊賀スマイル給食 実施回数	回	①	0	22	12	◎
3-3	森林保全・林業	境界明確化 実施面積	ha	①	186	277	200	◎
		未利用間伐材 搬出量	t	①	1,550	853	2,000	×
3-4	中心市街地活性化	中心市街地の人口社会増	人	③	27	51	71	△
		空き店舗等活用件数	件	③	3	22	23	◎
3-5	商工業・産業立地	上野商工会議所・伊賀市商工会 組織率	%	①	52.10	53.44	51.00	◎
		新規立地企業件数	件	③	5	39	12	◎

施策 No.	施策キーワード	成果を示す指標（K P I）	単位	方向	計画策定 時の値	R5年度 実績値	R6年度 目標値	進展度
3-6	就業・起業	有効求人倍率（就業率）	率	①	1.31	1.06	1.33	△
		起業数	件	③	3	39	12	◎
4-1	都市政策	誘導区域内への誘導率	%	①	59.46	69.23	上昇	◎
		届出書の適合率	%	①	85.50	82.35	上昇	○
4-2	住環境整備	住宅の耐震化率	%	①	81.8	81.8	87.8	○
		市営住宅の改善事業 累計	件	③	2	8	10	◎
		空き家等数	棟	②	2,052	2,105	2,050	◎
4-3	道路	道路改良事業 進捗率	%	③	71.20	99.00	100	◎
		橋梁 修繕率	%	③	20.9	84.3	100	◎
4-4	公共交通	市内バス年間利用者数	人	①	503,269	369,619	503,000	△
		関西本線年間利用者数	人	①	1,458,143	1,397,256	1,458,000	○
		伊賀線年間利用者数	人	①	1,279,625	1,117,983	1,580,000	△
5-1	人権尊重・非核 平和	参加者の意識向上度	%	①	48.9	64.2	58.9	◎
		中学3年生の平和への貢献度	%	①	74.7	73.4	83.0	○
		女性登用率	%	①	23.4	29.6	30.0	○
5-2	同和問題	参加者の意識向上度	%	①	62.7	91.8	72.7	◎
		年間相談 延件数	人	①	3,149	3,376	3,100	◎
5-3	学校教育	学校改善に努めていると感じる保護者の割合	%	①	90.0	89.6	90.0	○
		将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	①	76.8	74.3	80.0	○
		個別の教育支援計画・指導計画の作成割合	%	①	100	100	100	◎
		情報モラル学習を実施する学校の割合	%	①	100	100	100	◎

施策 No.	施策キーワード	成果を示す指標（K P I）	単位	方向	計画策定 時の値	R5年度 実績値	R6年度 目標値	進展度
5-4	教育環境	複式学級数	学級数	②	2	0	0	◎
		施設改善率	%	③	0	22.0	29.4	○
5-5	生涯学習	人材育成講座 参加者数	人	①	274	666	480	◎
		図書館年間入館者数	人	①	80,523	72,426	71,100	◎
		児童書の年間貸出冊数	冊	①	118,710	135,617	145,000	○
		体験事業参加者数	人	①	7,360	2,896	7,500	×
6-1	住民自治・市民活動	キラッと輝け！地域応援補助金 申請件数	件	③	11	77	81	◎
		市民活動支援センター利用件数	件	①	1,307	1,305	1,372	○
6-2	多文化共生	日本人との交流がある外国人の割合	%	①	22.8	59.1	30.0	◎
		伊賀市に住んでよかったと感じている外国人の割合	%	①	79.8	79.8	84.0	○
6-3	文化・芸術	市民美術展覧会 出品者数、鑑賞者数	人	①	1,542	1,179	2,000	×
		自主事業の入場者数全体に占める子どもの割合	%	①	20.0	35.2	30.0	◎
		芭蕉祭献詠俳句等応募数	点	①	36,829	35,371	40,000	○
6-4	歴史・文化遺産	指定及び登録文化財数(累計)	件	③	500	505	520	×
		文化財施設 入館者数	人	①	17,108	14,830	18,000	△
		歴史的風致維持向上計画事業 進捗状況	%	①	21	44	63	×
		歴史資料 閲覧件数	件	①	40	85	50	◎
6-5	スポーツ	スポーツ活動実施率	%	①	28.8	13.8	43.2	×
		スポーツ施設 稼働率	%	①	45.96	49.74	55.15	○
6-6	定住・関係人口	ふるさと納税人数	人	①	6,791	15,161	12,000	◎
		20～30代の年間転入超過数	人	①	▲ 9	▲ 88	50	×
		相談を通じた移住者数	人	③	88	608	362	◎

施策 No.	施策キーワード	成果を示す指標（K P I）	単位	方向	計画策定 時の値	R5年度 実績値	R6年度 目標値	進展度
7-1	広聴広報	市ホームページで寄せられた意見件数	件	①	769	1,007	900	◎
		市ホームページアクセス数	件	①	3,878,604	3,445,995	4,200,000	△
		情報公開・個人情報保護審査会で妥当でないと判断された件数	件	①	0	0	0	◎
7-2	財政運営	実質公債費比率	%	②	11.4	8.6	概ね9%を超えないこと	◎
		将来負担比率	%	②	77.2	66.7	50%台後半	△
		公共施設縮減面積	万㎡	③	8.1	12.2	11.6	◎
		複合化で機能移転した施設数	か所	③	2	13	22	△
		滞納繰越債権額	億円	②	21.9	14.0	17.0	◎
7-3	組織・人事	人事評価で標準得点を上回る職員割合	%	①	78.4	83.6	85.0	○
		ストレスチェックの受検職員割合	%	①	85.5	91.8	90.0	◎
		有効改善提案の割合	%	①	66.6	66.6	33.3	◎
7-4	広域連携	圏域自治体の人口	人	①	96,439	91,975	91,038	◎
		共同研究参加者の満足度	%	①	100	100	100	◎
7-5	デジタル自治	オンラインで申請可能な行政手続きの数	件	③	7	38	40	◎
		計画期間に改善を図った事務事業の件数	件	③	-	332	150	◎

4. 重要施策と横断的な取り組みの状況について

昨秋の行政経営協議で、次の7施策を2024（令和5）年度の重点施策と位置付けています。

【分野-施策】

- ・ 1－6 子どもを安心して産み、育てることができる
- ・ 3－4 中心市街地の賑わいをつくる
- ・ 3－5 地域の特性を活かし、商工業活動を盛んにする
- ・ 4－1 適正な土地利用によりまちの魅力を高める
- ・ 4－4 身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える
- ・ 6－1 住民自治活動、市民活動やボランティア活動が活発に行われる
- ・ 6－2 国籍や文化の違いを認め、共生する

横断的な取り組み

まち・ひと・しごと創生

加速する人口減少に歯止めをかける

基本的な方向と新たな視点

- ・コロナの先の伊賀づくり : 「こども」「暮らし」「にぎわい」
- ・多様な人材の活躍を推進する : 伊賀流自治の推進、自治基本条例の見直し
- ・新しい時代の流れを力にする : Society5.0、SDGs、新たな生活様式への変革

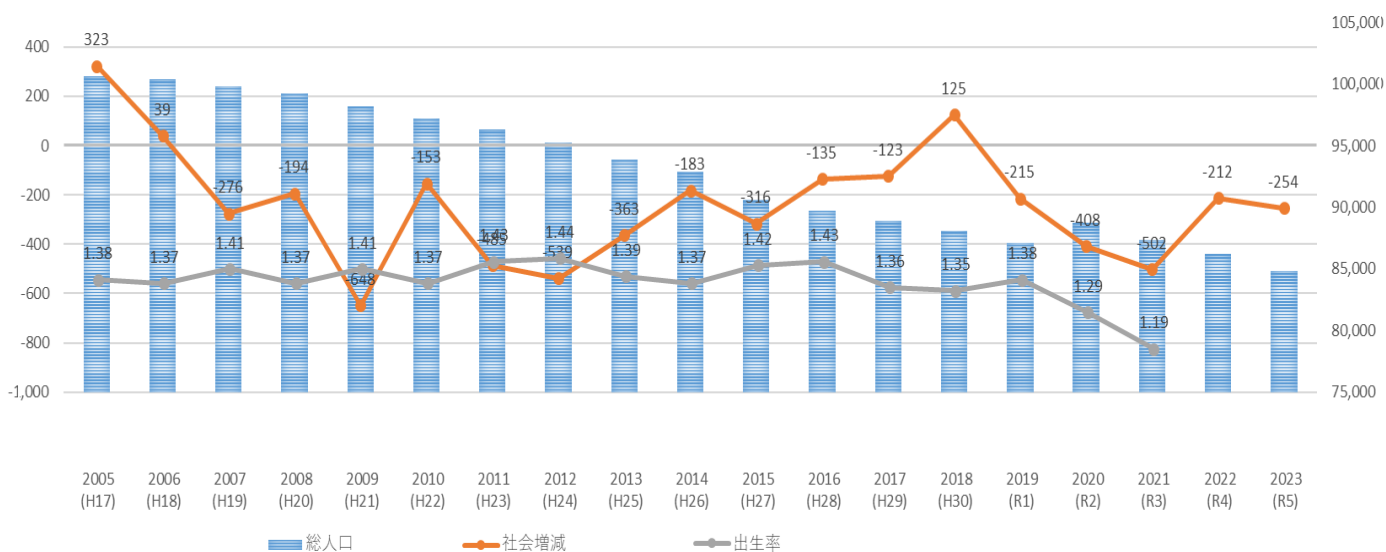


めざすべき伊賀市の姿

【項目】	2020(令和2)年 実績	直近の状況	設定した目標	2040(令和22)年
人口 (人)	88,766	84,851 (*1 R5 10月1日推計人口)	79,588 (R6)	66,448
合計特殊出生率	1.35 (H30/R2「伊賀保健所年報」)	1.19 (R3/R5「伊賀保健所年報」)	1.80 (R7)	2.10 人口置換水準をめざす (現時点2.06~2.07)
社会動態(転入転出超過) (人/年)	△408人/年 (*2 R2)	△254人/年 (*2 R5)	転出超過を抑制	社会増減の均衡を図る

*1 三重県政策企画部統計課「三重県の人口」

*2 三重県政策企画部統計課「三重県月別人口調査結果」



	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
総人口	100,623	100,364	99,805	99,208	98,195	97,207	96,316	95,243	93,849	92,905	90,581	89,741	88,854	88,111	87,083	86,766	87,369	86,213	84,851
社会増減	323	39	-276	-194	-648	-153	-485	-539	-363	-183	-316	-135	-123	125	-215	-408	-502	-212	-254
出生率	1.38	1.37	1.41	1.37	1.41	1.37	1.43	1.44	1.39	1.37	1.42	1.43	1.36	1.35	1.38	1.29	1.19		

基本的な方向と新たな視点

- ・コロナの先の伊賀づくり : 「こども」「暮らし」「にぎわい」
- ・多様な人材の活躍を推進する : 伊賀流自治の推進、自治基本条例の見直し
- ・新しい時代の流れを力にする : Society5.0、SDGs、新たな生活様式への変革



【基本目標】		【主な基本事業】	【進捗管理】						
1	<u>誰もが希望を持って働くことができる</u> <方針> ・地域の魅力のブランド化、イノベーションの創出 ・地域資源を活かした地域産業の強化 ・就業・起業支援と人材の確保・育成	・観光誘客と情報発信 ・農畜産物の生産振興 ・商工業の活性化 ・企業立地 ・就労支援、職業相談 ・創業支援	成果指標	市内総生産額					
			成果指標の説明	『三重県勢要覧』における市町統計「経済基盤」の「62）市町内総生産額（総額）」					
				現状値	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	目標値 (単年)
			実績 (百万円)	506,073	514,706	526,997	522,640		547,000
			成果指標	従業員数（工業統計・経済センサス）					
2	<u>安心して子どもを産み、育てることができる</u> <方針> ・結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援 ・ワーク・ライフ・バランスを実現	・子育て相談 ・子育て支援 ・少子化対策 ・男女共同参画	成果指標	出生数					
			成果指標の説明	三重県『月別人口調査』における前年10月から当年9月までの出生数					
				現状値	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	目標値 (単年)
			実績 (人)	538	497	503	410		610
			成果指標	若年(20～39歳)女性人口					
3	<u>心豊かに暮らし続けることができる</u> <方針> ・市民主体によるまちづくり ・地域防災の確保 ・魅力的な地方都市生活圏を形成 ・医療・福祉サービス等の機能を確保 ・地域間連携による魅力的な地域圏の形成 ・文化・スポーツ振興によるまちづくり	・住民自治 ・コンパクトシティ・プラス・ネットワーク ・包括的な相談支援 ・定住自立圏 ・多文化交流 ・文化・芸術振興 ・スポーツ振興	成果指標	住み続けたいと思う市民の割合					
			成果指標の説明	まちづくりアンケートの中で、「住み続けたい」「できれば住み続けたい」と回答した市民の割合					
				現状値	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	目標値 (単年)
			実績 (%)	76.1	78.7	77.4	77.5		80.0
			成果指標	地価公示価格の平均					
4	<u>魅力を高め、にぎわいと交流を生み出す</u> <方針> ・官民連携による賑わいの拠点づくり ・交流・関係人口の創出・拡大 ・移住の促進 ・産学官民連携による地域人材の育成	・市街地整備 ・中心市街地の商業の活性化 ・魅力発信 ・移住・交流 ・地域人材育成	成果指標	3大都市圏からの転入者数					
			成果指標の説明	住民基本台帳における1月1日から12月31日までの首都圏(1都7県)、中京圏(3県)、関西圏(2府4県)からの転入者数					
				現状値	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	目標値 (単年)
			実績 (人)	2,231	2,137	2,216	2,118		2,450
			成果指標	全国における伊賀市のブランド順位					
			成果指標の説明	ブランド総合研究所『地域ブランド調査』における伊賀市の全項目の平均順位					
			実績 (位)	230	231	240	265		200